

2019年原水爆禁止国民平和大行進

週刊

明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2019.6.23

通巻No.1426

日本共産党
小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

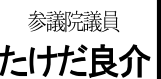
何でも
ご相談を



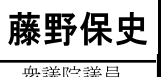
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



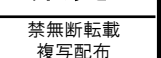
参議院議員
井上哲士



参議院議員
たけだ良介



衆議院議員
藤野保史



衆議院議員
笠井あきら

禁無断転載
複写配布

小矢部市から石川県へ 沿道の皆さんの平和への願いをたずさえて

2019年の原水爆禁止国民平和大行進・富山広島コースが、6月14日午後から小矢部入りし、15日昼に倶利伽羅トンネルを抜けて、石川県へと引き継がれました。



市役所を出発する国民平和大行進の皆さん

小矢部市役所で到着集会 14日

市長、議長から署名と激励金

14日の市役所前の到着集会には、市総務課長から、議会議席中の桜井市長に代わって歓迎の挨拶があり、市長、議長からの署名、激励金等が手渡されました。

行進団「生まれめんかな」を朗読し謝意

行進団は、栗原貞子(注)の詩「生まれめんかな」を、声を合わせて朗読して、謝意を表しました。

(注) 栗原貞子 非戦・反核を歌い続けた詩人。生まれめんかなは代表作のひとつ。この詩は原子爆弾が投下された後の夜、地下室に避難していた被爆者の一人が突然産気づき、同じ地下室に避難していた一人の産婆が、自らの怪我を省みずは無事赤子を取り上げるが、それと引き換えに命を落としたという内容である。

出発集会 15日

「青い空は、青いままで、子どもらに伝えたい」と歌う

15日朝の出発集会には、新日本婦人の会のマーガレット・コーラスのみなさんがピアノの伴奏で先導して、参加者全員で「青い空は」を合唱しました。

ひとりの女子高生の勇気が世界にひろがる



新婦人会広瀬会長があいさつ

の下にいたのは、兵士ではなく市民でした。罪のない人たちの命を奪うことを誇りに感じるべきでしょうか」とSNSで発信したことが世界中で話題になっていると紹介しました。一人の行動が世界を動かすことにつながると、平和行進団の皆さんを激励しました。

毎週末、一軒一軒家庭訪問している署名行動を紹介

地元を代表して砂田市議があいさつをしました。小矢部市では平和委員会や憲法を守る小矢部の会など市民団体が中心になって、毎週末に一軒一軒家庭訪問を繰り返して、現在、核兵器禁止署名を5283筆、安倍9条改憲ノ1の署名4000筆を集めていると紹介し、こうした草の根の力を核兵器廃絶につなげていきたいと述べました。



激励のあいさつをする砂田市議

広島まで歩く通し行進者、山田太枝さん



倶利伽羅で開かれた石川県との引き継ぎ集会で挨拶する通し行進者の山田太枝さん

行進の先頭には、富山から広島まで通して行進する山田太枝さん(74歳、東京世田谷在住)が、日焼けした顔をほころばせて歩き、私たちの一歩一歩が核兵器のない世界を産み出します」と沿道の皆さんへ呼びかけました。

石川県の皆さんも元気に出発 倶利伽羅峠から

石川県内をめぐる平和行進が15日正午に倶利伽羅峠を出发しました。



石川県の平和行進の皆さん



反核平和マラソンも長崎市長の激励メッセージを受けて元気に走りました

